



Rotary International District 2650 Nara Japan
奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)
 ■会長：富川 悟 ■副会長：小西敏文 幹事：植村将史



1484回例会

会長報告



先日、一昨日ですけれど、スワダさんの講演会を無事終了させて頂きました。非常に盛会と申しますか成功に終わらせて頂きました。その模様につきましては、新聞では奈良新聞、産経新聞、それから朝日新聞はまだ掲載されていませんけれど、たぶん明日くらいは載るかと思いますが、各新聞社も非常に興味をもって頂いております。それから我々は観る事ができなかったですけれど、当日奈良テレビにおいて夕方のニュースで放映されたようでございます。それぞれの新聞を読みましても、かなり賞賛した記事を書いて頂いております。その他、新聞によりますと約300名ですが、実際は250~260だと思っております。私たちのクラブからも130数名の方が当日は出席して頂きました。本当にありがとうございました。ちょっと費用もかけましたけれども、費用対効果と申しますか、非常に良いものがあつたんじゃないかなと思っております。ただ、その後、地域支援本部の方等と懇談してございまして、色々当日の話をさせて頂きました。非常に皆さん「よかった」という話で、特に支援本部の方などは非常にたくさん参加していただきました。その中で、一つだけ残念なことということで、それぞれが言葉は違いますがおっしゃっていたことがありました。折角、スワダさんというような素晴らしい方をお招きして講演会をしたのに、学校の先生が参加しなかった。これは、休み(日曜日)ということもありいろいろあつたかもしれませんが、父兄の方も「先生がもう少し積極的に参加してほしかったな」、というような言葉をおっしゃっていたのは非常に印象的でした。そういうことをご報告させて頂きまして会長報告とさせて頂きたいと思っております。それからもう一点、先日奈良クラブの主催でありましたIMの参加に対するお礼状が豊澤会長名できておりますのでご報告致します。

次週の例会

12月8日

卓話 「ニューオーリンズ・・・ホールと協会が残った」

前奈良100年会館館長 元NHK文化センター大阪総支社長 植村 脩 氏

▼次項へつづく

発行日 / 2009年12月1日
 2009-2010 / 20

Vol.31

No. 1485

HP : <http://naraomiya-rc.jp>
 E-mail : info@naraomiya-rc.jp



育てよう、人。

2009~10年度
 第2650地区のテーマ
「育てよう人」

国際ロータリー第2650地区
 ガバナー 富田謙三



四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

例会プログラム

第20回 12月1日
 通算1485回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング
 「国歌」
 「それでこそロータリー」
3. お客様の紹介
4. 年次総会
5. 会務報告
6. 卓話
 「奈良ホテルの100年」
 奈良ホテル 企画販売部長
 辻 利幸 氏
7. 閉会の点鐘 18時30分

例会状況報告

第19回 11月24日
 通算1484回

R.C.は出席から 1483回
 ● 会員数 68名
 ● 出席免除者数 21名
 ● 出席者数 50名
 ● 補填者数 -
 ● 出席率 84.7%

1482回の修正

● 会員数 68名
 ● 出席免除者数 21名
 ● 出席者数 52名
 ● 補填者数 7名
 ● 出席率 95.2%

委員会報告

潮田国際奉仕委員長

奉仕プロジェクト委員会並びに国際奉仕委員会からのお知らせです。

第一点は、2010年6月19日から24日までカナダのモントリオールで国際ロータリー大会が開かれます。参加案内が早速来ておりますので、ご希望の方は参加お願い致します。地区の行事と致しましては、地区の親善朝食会が含まれております。

二点目に、11月30日(月)「携帯電話有害サイト対策研修会」が、奈良大宮ロータリークラブ主催で14時より三笠中学校体育館で行われます。平日の午後ですので何かとお忙しいとは思いますが、時間のある方は参加の方宜しくお願い致します。

三点目に、皆さんのお手元に回覧で回しておりますが、WCS、ワールドコミュニティサービスの今年度のポリオの生ワクチン投与のミッションですが、キリバス・ミッション、キリバス共和国に来年の1月25日(月)～1月31日(日)まで、今回はグアム・フィジー経由して入ります。私も参加申し込みしましたが、参加申し込みは12月10日までですので、もし行きたいとおっしゃる方は、私も色々お世話させていただきますので、参加の方宜しく願います。WCSの活動も2012年度に恐らく終わりになるのではないかと考えられますので、残り少ないですので、参加の方よろしく願います。

幹事報告

ロータリー情報委員会の方からアンケートの依頼が入っておりますので、次週(12月1日)の例会の際に配布させていただきます。当日回収して集計して送付致しますので、どうぞご協力の方宜しくお願い致します。

指名委員会 高木委員長報告

当クラブ 細則 第3条 第1節(a)の規定に基づき、平成21年10月27日、会長により指名委員会の開催が通告されました。

指名委員会は、当クラブ事務取扱内規1.イの規定により、会長、次年度会長、及び前五代の会長合計七名によって構成することとされておりますので、富川悟会長、矢追家麻呂次年度会長、前五代の会長であります佐川肇、成田積、清岡正教、楠木重樹、そして高木伸夫の七名が指名委員会を構成し、同規定により再選任会長であります私が、指名委員長を務めました。指名委員会は同規則の規定に基づき、以下の方々を指名致します。



次次(2011～2012)年度会長 井上正行 君
次(2010～2011)年度副会長 藤井正勝 君
幹事 石野捨雄 君
会計 植倉一正 君
理事 楠木重樹 君、橋本和典 君、谷川千代則君、
小西敏文 君、武藤廣茂 君

尚、同規則の規定に基づく次次年度会長に立候補しようとする会員の届け出はございませんでしたので、併せ報告致します。

(富川会長)

ありがとうございました。只今発表されました候補者の皆さん、次週の定時総会の承認をもって正式決定ということになりますので、宜しくお願い致します。

Congratulations

11月お誕生日

13日 矢追家麻呂 18日 松岡嘉平治 18日 佐川肇 24日 中井一男 25日 宮坂久永

11月結婚記念日

3日 小川祥夫 4日 倉田智史 6日 成田積 7日 清岡正教 11日 水野憲治
22日 山本 尚永 24日 中井一男

▼次項へつづく

「ロータリー財団奨学生とGSEの経験を生かして」

元RC財団国際親善奨学生、京都女子大音楽科、滋賀県立石山高校音楽科非常勤講師 稗方摂子氏



奈良大宮ロータリークラブのロータリアンの皆さん、こんにちは。ご紹介にあずかりました財団学友の稗方摂子でございます。私が、GSE団員としてオーストラリア・シドニーに行かせて頂きましたのは、5年半前になります。遡り、ロータリー財団国際親善奨学生としてイタリアのミラノに留学させて頂きましたのは、1990年、1991年のことでした。現在はソプラノ歌手として、また声楽の教師として仕事をさせて頂いております。

ロータリー財団学友会では至らないながらも会長職を四年、四年の任期を更に一年延長し務めさせて頂きましたが、一昨年度をもって無事卒業させて頂きました。また、ロータリー様とはRYLA国際大会、また各ロータリークラブなどでも

歌わせて頂いたり、こうやって卓話をする機会を頂戴しております。

実は、6年、7年くらい前ですか、こちら奈良市内5ロータリークラブ主催のポリオ撲滅チャリティーコンサート（学園前ホール）というのを、私、依頼を受けまして演奏会をさせて頂きましてそこで歌わせて頂きました。東京の歌い手さんや、奈良・奈良市内出身のソプラノの同僚を募ってこちらで歌わせて頂いたことを昨日のように覚えております。

歌い手として、また教師として、財団学友として少しずつ活動しておりましたところ、こうしてロータリアンの諸先輩方と御縁を頂き、教わることができ、心から感謝しております。

今日は、ロータリー財団国際親善奨学生、GSE、そして財団学友会、それぞれの経験や苦労がどのように自分を成長させてくれたかという体験談です。そういうお話を順を追ってさせて頂きたいと思っております。

まずは、ロータリーとの出会いとなりました国際親善奨学生としての体験談です。'90年、財団奨学生としてイタリアのミラノでの一年間の留学生生活は苦労とカルチャーショックの連続でした。とはいえ、人生で初めて単身でイタリアに到着したのが一年間の留学、というドキドキするようなスタートも滑り出しはとてもスムーズでした。財団奨学生の審査は大変厳しく、私は実は二度も補欠に甘んじ、三度目の正直でようやく合格させて頂きましたので、イタリア語は既にある程度スムーズに話せましたし、物怖じしない性格が功を奏しました。まったく初めてのイタリアも、街の中のアクセスや警察での滞在許可証申請も難なくこなし、住むところもすぐに見つかりました。でもイタリアという国は寮があったりするわけではないし、ミラノは特に住宅事情が悪いので、他の留学生の方々には本当に苦労されていましたが、偶然私は、本当にラッキーなことにすぐに住むところがみつかりました。ホストロータリアンはイタリアでは知らない人はいないリコルディ社の社長さんでした。このリコルディ社というのは、いまは十字屋さんとかヤマハさんのようにCDやDVDなんかを販売してらっしゃるんですが、元を正せば楽譜の出版社です。歌劇王ヴェルディやプッチーニ等のオペラの楽譜の版權をもっているという大変由緒正しい出版社です。現在は世情がこうなりましたので、アメリカの企業に吸収されてはいるそうですが、私たちが勉強する相変わらず譜面にはリコルディと書いてあります。

すべてが好調に思えました留学生生活のほんの初期段階が終わると、今度は失敗の連続に見舞われました。生活や人間関係では筋金入りの狡猾なイタリア人の処世術の前には、お人好しで若い日本人女性なんていうのはまるで赤ん坊のようなものでした。また、当時あちらの日本人社会は日本のそれよりずっと閉鎖的で、ちょっと村のようにも思えました。自分の性格の短所は助長され、長所だった筈の物怖じしない性格は裏目に出ました。「まったく、外国ではこんな風にして自分が露呈するんだ」と自分自身にずいぶんと情けない思いをし、誤解の泥沼で、ミラノの街を泣きながら歩いたこともありました。加えて、歌の勉強では発声方法は一からやり直しでした。オペラ歌手を志す者として、イタリア人との体力や骨格、つまりDNAの違いやそれに伴う技術的レベルの違い、また勉強の仕方の違い、そして彼らの歌い方や発声方法への伝統への自負心には本当に驚きました。これはいまでも驚き続けております。やっぱり違うな、と思わざるを得ないことが多々あります。



ダヴィンチやミケランジェロ、ヴェルディやプッチーニ、歴史的なスーパー大天才を生み出した伝統に溢れた国で、芸術的にも技術的にも体力的にも優れたイタリア人からしてみると、私の長年の勉強というものはゼロに等しく慄然と致しました。目の前に越えられない大きな壁が立ちはだかったように感じ続けた程でした。「ひょっとしたら、私はもう歌なんてやめたほうが良いのではないだろうか」と本気で思いました。夢にも思いました。「もうやめたほうがいいんじゃないですか？」と神様か仏様にきいてる感じで、その何かはわかりませんが「やめる必要はありません」と言われる夢を見たのを覚えております。このように社会面でも専門の勉強においてもはっきり申し上げて、情けない事態を自覚せざるを得ませんでした。

しかし、すべてを自己責任として受け入れ、気持ちの面で丸裸になって立ち向かう事のみが、自分のとれる、またとるべき唯一の道でした。同じソプラノの留学生で年下のルームメイトには悠々と先を越され、子供じみた意地悪を言われながらも一から出直しの勉強が始まりました。社会的には、どういう場所でどういった人にどのような態度をとるべきか、また用心深くあることを少しずつ学んでいきました。大分と落ち込み、傷つきもしましたが、それは私が歌手として、一人の大人として、一人の社会人として、また国際人として越えなければならなかった関所だとも思います。

”成功のときは自信の深まる時、失敗のときは経験の深まる時”という名言がございますが、そこでの失敗と経験、そしてやり直しの勉強は、その後やがて私の財産となりました。

少々時間はかかりましたが、なんと申しましても財団奨学生としてのあの一年間は、いまのソプラノ歌手としてのすべての感性と技術の源となりました。それらの経験は自分自身に、結果的に、まるで「紀元前」「紀元後」、「使用前」「使用后」のような変化をもたらしたと思います。語学力は養われ、世界一といわれるイタリアの美的センス、つまり美しい建物や美術品、ファッショナブルで美しい人々の中での生活により感性が磨かれ、その国民性を理解し、そこから一部処世術を学び、やがて世界を知ることになりました。

帰国後は、それらを元手にイタリアで自分が感じたことや経験したことをなんとか意義あるものにしようと、その経験を見つめ、掘り下げつつ、やり直しの勉強をこつこつと少しずつ努力を重ねました。その時に私とイタリアという国の間をとりもってくれたのは、映画の『ゴッドファーザー』でした。いまでもあれは自分にとってのバイブルになっているという紳士方、ロータリアンの皆さんもあるのではないかと思います。

そうしてようやく声楽家として、こうして皆様に支えられ、教わりながら、曲りなりにではありますが独り立ちできるようになりました。また、イタリアという国とも付かず離れず、上手に付き合っていく術を見つけたように思います。数年に一度、今でもイタリアに赴きます。レッスンと称して、ちょっと楽しく経験を深めることを、数年に一度ですが、私は頑張っております。また、国内でもイタリア人の友人との付き合いなどは大切にしております。お気付きのように、それらすべての苦労や経験が私に与えてくれた忍耐力は、五年前、GSE団員としてのオーストラリアでの活動に大変大きな効果をもたらしました。チームメンバーで一番お姉さんだった私は、もう同じような失敗はできません。お国柄や人柄を感じ、見極め、ケースバイケースにその場の空気を読み、微笑みを絶やさず明るい態度をとることを心掛けました。各ロータリークラブでのチームのプレゼンテーションや地区大会では自分のスピーチの後に、『乾杯の歌』や『サマータイム』『赤とんぼ』などを歌ってはとても喜んで頂きました。その時頂いた、彼らからの大きな賞賛は本当に私にとって大きな励みとなっています。地区大会の前後が本当に大変なプログラムだったのですけれども、前の日も夜例会に出席し、次の日の地区大会の朝には朝例会に出席し、何百キロという距離を移動し、体力を温存し、自分たちのプレゼンテーションが午後9時ごろだったんですが、その後「歌え」ということだったので、そこが大変だったんですけれども、それが終わった後にあちらのガバナーが「Well Done」と言って下さいまして、その後も色々なロータリアンの方々が「あなたの演奏が今日は一番のメインだったということを必ず日本に帰って伝えて欲しい」という風におっしゃって頂いたことが、本当に励みになりました。ホストファミリーとはいつも本音で、お茶や食事をしながら人生を語り合いました。どんな瞬間も思い出に強く残っています。勿論いまでも時々電話やメール交換をしています。また一人のホストマザーは、三年前の地区、女性初のガバナーとして活躍されました。パートナーとしてガバナーを支えていらっしまったのは、同じくロータリアンのご主人様でした。

国民を超えた初対面の相手に居心地の良さを提供するという事は、決して容易いことではないと思います。そして、それを受けるこちらの側もたとえどんなに疲れていても笑顔を絶やさず、様々な心遣いや配慮に気づき感謝をするということも、即座には簡単なことではありません。

お聞き頂いたように、GSEのミラキュラスな私の体験というのは語っても語っても語り尽くせない位あるんですが、本当にGSEでは滞在中彼らオーギーロータリアンとその家族の真心溢れるもてなしに感動しない日はありませんでした。

これらの出会いと経験は、間違いなく私の人生の宝物です。勿論、五人という非常に限定されたチームの中で、ロータリー間のグループ交換はそれぞれ色々ありました。大きな苦勞がなかった訳ではございません。ちょっとこの席では申し上げられないようなこともありました。それぞれ忍耐力が必要でした。しかしそれも含めて、すべてが本当に意義深い経験となりました。

少々余談ですが、二年前の三月、そのシドニーのGSE地区委員の方で私たちが大変お世話になった方が、日本にプライベートなご旅行にいらっしゃいました。その時の私たちのチームリーダーと一緒に一日京都観光をアテンドしたのですが、彼らが丁度京都駅に着かれてお話をした時に、実はその方のその前の滞在地が東京の六本木だったんですけれども、大変な被害に遭われたということがその日になって判明しておりました。カードの損害です。その方には大変良くして頂きましたし、我々の信頼をもっとも集めていたその方がそんな被害に遭われて、本当に私たちは「よりもよってどうしてこの方が日本に来てこんな目に遭われなきゃいけないんだ」と私たちも本当に情動的にその事態に苦しみ、自分の出来る限りを考え、あちこちの警察や大使館にも電話しました。その時は結局それがどうなるかということとは分からなかったんですけれども、ご本人が帰国されて約一ヶ月後、メールが来ました。カード会社の采配で被害が食い止められそうだ、ということでした。その中に、「ロータリーは自分にたくさんのもを与えてくれた。でも、日本にいる二人のワンダフルで才能ある友人以上のものはない」という過分なお礼のメールを頂きました。

今年三月は、アメリカ・ウェストヴァージニアからGSEチームの在日プログラムに係ることができました。丁度五年前のシドニーでのパフォーマンスと同じ日に彼らに出会い、交友を深める事ができました。とても深いご縁を感じます。財団学友会では、その代表を務めさせていただいた五年間、大きなことは何もできませんでしたが、毎年国際親善奨学生選考会には選考委員として4回務めさせて頂きました。申請書をしっかり読み深め、面接では人間力を見極め、自分のジャッジメントが本当にそれで正しいのかと自問自答し、自分の持てる感性を総動員して公平たらんと取り組みました。数年前までは申請書類は郵便小包一箱分ありました。選考会の前日は、知的レベルの高い応募生の人たちの人生がかかっているのかと思うと、自分が選考されるより緊張して眠れませんでした。応募生の面接では、ガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクトのいらっしゃる中で、何とか人物を見極めようと質問を投げかける内容も、またタイミングも難しく、しかし自分の托された使命を遂行しようと努力しました。正直申し上げましてこの選考に関わることは大変なことでした。しかしそれがいま、自分自身にとって大変大きな経験と勉強になったことは間違いございません。これからは陰に日向に学友会をバックアップしていきたいと思っております。ロータリー財団学友としていま一番問題に感じることは、このように人を成長せしめる財団国際親善奨学生、GSE（来年度からGSEは名前が変わるとお聞きしております、VT=Vocational Training）、こちらの方の応募が信じられない位少ないということです。確かに国際親善奨学生の応募資格の語学力というのはレベルが非常に高く、応募者減少の大きな原因ということは間違いありませんが、これもまた必要な事柄です。はっきり申し上げて、近年の応募生の殆どが行ける状態ということは決して良いはずはございません。

本当にもったいない話だと思います。GSEに関しては定員割れという話まで伺います。

GSEシドニーで私の滞在中、あちらのはつらつとして大変キュートな女性ロータリアンがいらっしゃいました。ライザ・ミネリみたいなどとても華やかな方でしたが、こう言われました。「私は今度チームリーダーに応募するのよ。あなたたちは一体何人から選ばれたの?」。シドニーチームは何十人という応募者の中からの選考だったそうで、「こちらはたったの六人でした」とは、ちょっと申し上げられないほどでした。チームリーダーも同様だそうです。ちょっと恥ずかしい思いをしました。そこで大変僭越ではございますが、これは私からのお願いです。どうか是非、お知り合いのすてきな若者、そしてまたご自身の会社のユニークでこれからの未来を背負って立つような社員さん方に、どうかこれらのプログラムのご参加をお勧め下さい。確かにこの経済危機の中、この状況が大変厳しい事というのは重々肌を感じておりますが、是非、本当に大きな大きな体験となりその方が大きく成長されるということを私は信じております。若くて精神的に成熟度の高い公平な精神をお持ちの有能な社員さんを、約一カ月の武者修行にどうか出してさし上げて下さい。どうか宜しくお願い致します。

ロータリー財団国際親善奨学生、そしてGSEでの出会いや経験、そうしていまこうしてここにいられることに、ご縁を与えて下さったロータリーそのものに心から感謝致します。この場をお借りしてお礼を言わせて下さい。ありがとうございました。

頂いたすべての失敗や経験が、いま実は学校で生徒と向き合うときに、本当に役に立っています。特に高校の方ですね。大学の方はある程度学生たちはアイデンティティがはっきりしているんですが、特に高校、石山高校音楽科ではそれを強く感じます。

声楽というものはご覧のように「からだ」全体が楽器です。メンタルな部分、つまりこころ、人間力が「からだ」という楽器をつくり、そしてそれを支配し、マネジメント致します。そしてその「からだ」としての楽器も、性格も能力も感性も、文字通り千差万別です。ロータリーが与えて下さった大きな山を越える度に、生徒へのアプローチの仕方や対処の仕方の引き出しが増えるように思えてなりません。

これからもロータリーで頂いた経験で培った忍耐力をもち、ソプラノ歌手としては大きな舞台でも小さなものでも全なる魂を込め、人に悦ばれる歌を歌い続けることを肝に銘じます。また、教師としては我慢強く理想を追求し、思い込みを正しつつ、決して諦めない、公平で黒子的態度のとれるティーチャーとして、常に生徒と共に反省することを忘れず、成長し続けて参りたいと思います。また、2650地区学友として、今後も公平な態度を貫き、学び、世の中に還元し続けることを心に刻み続けたいと思います。

実は私は、大津東ロータリークラブの第四例会で季節の歌を歌っております。水曜日の昼例会ですが、また是非訪ねてきてください。

(『赤とんぼ』全員で合唱)

軍艦島 (小西敏文)

10月29日(木)快晴のもと長崎県軍艦島へ上陸、見学してきました。

外観が戦艦「土佐」に似ているため「軍艦島」の通称となっておりますが、海底炭鉱の島、「端島」が本当の名前です。

最盛期には、東京の人口密度の9倍5300人が暮らしていたが、1974年(昭和49年)に閉山になり、2009年4月から上陸・見学が可能になりました。廃墟の姿は一見の価値あり。



ニコニコ箱 本日計 37,000円 累計 1,151,000円

- 松岡 弘樹 君 初孫を授かりました。感謝の気持ちでニコニコ!!
- 中井 一男 君 結婚祝、誕生祝をありがとうございます。今年で傘寿とか。クラブで3番目になりました。メンバーの方々の足を引っばらない様がんばりますのでよろしくお願い致します。
- 山本 尚永 君 セクスイハイムを新築致しました。ニコニコ。結婚記念のお祝いの品ありがとうございました。
- 佐川 肇 君 誕生日のお祝いをありがとうございます。
- 高辻 良成 君 ひえかたさん、おひさしぶりです。G.S.E.の際には、大変お世話になりました。本日の卓話、たのしみにはしています。
- 矢追家麻呂 君 お誕生日のお祝いありがとうございました。
- 中奥 雅巳 君 結婚記念日のプレゼントありがとうございました。
- 谷川千代則 君 小西さん、潮田さん、先日はありがとうございました。
- 畑中 利久 君 大塩さんを受付 見つけました。
- 多田 実 君 ニコニコ協力
- 野上 利樹 君 ニコニコ協力!